

やすらぎの家デイサービスセンター令和4年度第2回 運営推進会議 議事録

日 時：令和5年3月29日(水)

場 所：やすらぎの家デイサービスセンター

参加者：

| | | | |
|--------------------|----|----------------------|----|
| 利用者代表 | 0名 | 出雲市高齢者 あんしん支援センター | 1名 |
| 利用者家族 | 1名 | 地域ボランティア | 1名 |
| 事業所スタッフ（施設長・生活相談員） | | | 2名 |

議題

1. デイサービスの利用実績について
2. デイサービス利用者の状況
3. 行事・活動について
4. 連携の取り組みと今後の課題
5. 意見交換

●利用状況について

【令和5年2月現在 利用登録者20名の状況】

| | | | | | |
|-------|---|--------|-------|-------|-------|
| 性別 | 男性 1名 | 女性 19名 | | | |
| 介護度 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 |
| 分布 | 10名 | 4名 | 5名 | 1名 | 0名 |
| 利用頻度 | 週5日 | 週4日 | 週3日 | 週2日 | 週1日 |
| | 3名 | 3名 | 3名 | 6名 | 5名 |
| 平均年齢 | 84.84歳（昭和1ケタ6名、昭和10年代11名、昭和20年代2名） 74歳～96歳 | | | | |
| 平均介護度 | 1.89 | | | | |

●行事・活動について

実施状況

| | |
|-----|--|
| 9月 | 火災避難訓練、長寿お楽しみ会（敬老会）、調理 |
| 10月 | 運動会、ハロウィン、調理 |
| 11月 | 紅茶の日（喫茶）、いい夫婦の日、オペラの日（歌の会）、ダンスパーティーの日（踊り）、誕生会、調理 |
| 12月 | 冬至、忘年会、クリスマス会、餅つき、誕生会、調理 |
| 1月 | 初釜、鏡開き、新年会、誕生会、調理 |
| 2月 | 節分、バレンタインデー、おやつ作り（黒ゴマおはぎ・パンケーキ）、誕生会、調理 |

今後の行事予定

| | |
|----|----------------------------------|
| 3月 | ひなまつり、ホワイトデー、お彼岸ぼたもち作り、花見、誕生会、調理 |
| 4月 | 花見、喫茶、おやつ作り（桜もち、よもぎ団子）、調理 |

●やすらぎの家での連携の取り組みについて 事例報告

1. タブレット端末の導入

通信アプリを使い、老夫婦世帯の遠方におられる家族に、写真や動画を送り連絡。

担当者会議で、写真・動画を使い、日ごろの様子や雰囲気が見えるので、楽しんでいる様子に家族も安心できる。

家族や関係機関（ケアマネジャー、ヘルパーなど）グループトークにして、情報を共有化することで、受診等の対応や生活の支援がスムーズ。

2. 事業所間連携

ショートステイの導入に向けて、デイで関わる中でのアプローチのヒントを伝える事で、少しでも不安なく過ごせるようにしている。ショートステイ先から困りごと（入浴やトイレがうまくいかない）があると、直接電話をもらうようにして、都度アドバイスさせてもらう。

3. 家族支援

デイサービスの送迎の短時間の中で、できるだけ家族との会話をする事で、困りごとや心配はないか？介護疲れがないか？日々の介護への労いの言葉にも心がけている。

●意見交換

・タブレット端末の導入について～

【事業所】

写真や動画で家族にダイレクトに表情が伝えられるようになった。またホールでタブレットを使って本の好きな人が読書を楽しんだり、おろち太鼓の話題から YouTube で踊りを見て、懐かしく踊ったりと、活動や可能性も広がっている。

【あんしん】

おもしろい取り組みだと思う。

【事業所】

まだ使いこなせていない所もあり、今はまだ全員ではなく、遠方に家族がおられる方へこちらからアプリの利用に声かけし利用してもらっている。利用者全員に取り入れられていない事が課題になっている。

【家族】

自宅では自分でパソコンを使うので、写真を送ってもらえると、そのまま遠方にいる子供に送ってやりたいと思う。

・コロナ感染症対策について～

【家族】

コロナが5月からインフルエンザと同じ扱いになると、マスクの着用や健康観察など、どうなりますか？

【事業所】

5月までに文書でお知らせする予定ですが、デイサービスでは高齢者の方でリスクが高い事もあり、マスクの着用と健康観察は続けていくつもりです。

ワクチン接種については、個人の考えで自由に、と思いますが、今後有料になるとの話もあり、さらに受けにくくなる人も増えると思う。

・連携について～

【ボランティア】

以前 近所の方が一人暮らしで、体調が悪くなってから、様子を見に行った時、うどんが食べたいと言われ、食べやすいようにあったかいそうめんを作って持って行ったが、その後一人で亡くなっておられたようで数日経って発見。警察が来て何を食べさせたか、調理方法は？調味料は何を入れた？と詳しく聞かれ、良かれと思って差し入れしたが、警察の調書を受けて嫌な思いになった事がある。近所でないと気付けないこともある。気になっても以前の事もあり、あまり立ち入りできない。新聞がたまっていたり、夕方になっても電気がつかなくなったり。数日そんな日があり、後でショートステイに行っていたと聞いて、知らせてもらっておくといいと思った。

【事業所】

新聞や電気などで近所の方が見守ってくれている事はありがたいと思う。冬の寒い時期など独居の方の迎えに行き、元気な姿にホッとする。ショートステイ利用時など留守をする時の連絡に見守りしてくれるご近所に必要とわかりました。

・その他～

【家族】

災害時避難ヘルパーの登録があり、近所の人2名の名前を書くようになっている。いざという時に近所の方の助けも借りられるような、普段からの近所付き合いが大切だと思う。

【あんしん】

災害時アンケートの実施予定で、市の防災と協力し集計し、ハザードマップや災害時にどんな準備が必要か再確認する。

やすらぎの家はBCP業務継続計画を立てていますか？

【事業所】

災害時の計画は立てていますが、新型コロナ感染症発生時の計画はまだです。感染症発生時の対策は、実際どこの事業所も人員不足で難しいと思っている。